

西方音楽館友の会主催コンサート

第4回西方音楽祭

- ◆ 3月30日(土) 11:00～& 14:30～
オープニングコンサート(西方音楽館友の会第58回コンサート)
演奏:クラリネット・フリーズ(渡瀬 紀子、中新井 諒子、長谷川 友美、松 真紀)
- ◆ 4月6日(土) 11:00～& 14:00～
お花見わらべうた
わらべうたとピアノ&フォルテピアノ:中新井 紀子 オカリナ:山村 多恵子
- ◆ 4月7日(日) 13:00～リレーコンサート
ニューヨークスタインウェイB、フォルテピアノ、小型パイプオルガンを弾いてみよう!
- ◆ 4月13日(土) 14:30～コンサート、16:45～公開レッスン 受講生募集中!
有森 博ピアノリサイタル～ショパン&ロシアの音楽～(西方音楽館友の会第59回コンサート)
- ◆ 4月14日(日) 14:30～
鈴木 秀美(チェロ)&小倉 貴久子(フォルテピアノ)デュオコンサート(西方音楽館友の会第60回コンサート)
- ◆ 4月20日(土) 14:30～
国際古楽コンクール<山梨>入賞記念コンサート(西方音楽館友の会第61回コンサート)
チェロ&ガンバ:島根 朋史 チェンバロ:河本 祥太郎、幸川 太一
- ◆ 4月21日(日) 14:30～
歌とギターによる～野ばらから小さな空へ～(西方音楽館友の会第62回コンサート)
メゾソプラノ:大塚 道子 ギター:小川 和隆

西方音楽祭は、公益社団法人企業メセナから認定を受けました。これにより、音楽祭へのご寄付は、税制上の優遇措置が取られ、収入から引くことが出来ます。50万円ほどご寄付を募ります。ご協力いただける方は、西方音楽館へご連絡ください。個人でも、事業所でも、どちらでも大丈夫です。

- 西方音楽館友の会第63回コンサート
モーツァルト フォルテピアノとヴァイオリンのための
ソナタ全曲演奏会シリーズ 最終回
バロックヴァイオリン:廣海 史帆 フォルテピアノ:羽賀 美歩
2019年5月19日(日) 西方音楽館公演 14:30～コンサート
16:45～ヴァイオリンとフォルテピアノの公開レッスン 受講生募集中!
2019年5月27日(月) 近江楽堂公演 19:00～
- 西方音楽館友の会第64回コンサート
久元 祐子 モーツァルト ピアノソナタ全曲演奏会シリーズvol.5
2019年9月23日(祝・月) 14:30～ コンサート
コンサート後すぐ、公開レッスン 受講生募集中!
- 西方音楽館友の会第65回コンサート
川口 成彦 フォルテピアノリサイタル
2019年10月26日(土) 15:30～

- 西方音楽館友の会第66回コンサート
古楽アンサンブル
「ムジカ・レセルヴァータ」コンサート
2019年11月30日(土) 14:30～コンサート
その後、リコーダー、チェンバロ&アンサンブルの
公開レッスン 受講生募集中!
フラウトラヴェルソ&リコーダー:国枝 俊太郎
バロックヴァイオリン:小野 万里
バロックチェロ:高橋 弘治
チェンバロ:岡田 龍之介
- 西方音楽館友の会第67回コンサート
高橋 弘治 J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲演奏会
2020年2月下旬 予定

西方音楽館友の会 2018年度会計報告

収入	支出	
会費収入	コンサート赤字	1,533,494円
2018年友の会会費を納入した方	会報発送(2回)	104,318円
A会員(3,000円) 56名	運営委員会(2回)	38,361円
B会員(10,000円) 34名	合計	1,676,173円
S会員(50,000円) 1名		
合計 91名	558,000円	
うどん・カレンダー収益金	赤字	1,061,005円
57,168円		
合計		615,168円

2018年11月に入り、緊急にご寄付をお願いしましたところ、お2人の方から、合計1,500,000円を、一般財団法人西方芸術振興財団にご寄付いただきました。根本保子様 1,000,000円 匿名ご希望の方 500,000円
西方音楽館友の会の赤字は、これにより財団資金より補てんいたしました。心より、感謝申し上げます。

こ・ぼ・れ・話

永田穂さんがお亡くなりになってちょうど20日後、夫 中新井 啓も亡くなりました。今頃、2人仲良く空の上から「西方音楽館は大丈夫かな・・・?」、とハラハラドキドキしながら見守っているような……。

中新井 紀子

西方音楽館友の会 会員募集

西方音楽館友の会 会員募集(毎年4月が更新の時期です)

A会員:3,000円 B会員:10,000円 S会員:50,000円 G会員:100,000円

それぞれコンサートへの特典があります。西方音楽館友の会主催コンサートは、会員の会費で支えられています。

西方音楽館友の会運営委員:中新井紀子(西方音楽館館長)、岡田龍之介(チェンバロ奏者)、小川和隆(ギタリスト)
木下大輔(作曲家)、永田美穂(音楽学)、山村多恵子(オカリナ奏者)



2019. 1 木洩れ陽の窓から No. 19

西方音楽館友の会会報

編集・発行人 中新井紀子

西方音楽館

322-0601
栃木県栃木市西方町金崎342-1 TEL 0282-92-2815 E-mail info@wmusic.jp Web http://wmusic.jp

この号では、西方音楽館「木洩れ陽ホール」の音響設計及び「馬酔木(あしび)の蔵」の音響改良にご尽力いただき、昨年2018年8月7日に93歳で亡くなった音響設計のスペシャリスト永田穂さんを偲びたいと思います。

音楽が溢れる所に

中新井 紀子

私が永田穂さんと親しくさせていただいたのは、永田さんが83歳～87歳くらいまで(西方音楽館オルガンホール設立委員会を立ち上げた2008年ころ～木洩れ陽ホールが完成した2012年くらいまで)ではなかったかと記憶しております。オルガンホールを個人で建てるという途方もない私の夢についてご相談し始め、いつの間にかホールの音響設計と言う仕事を越えて、親しくお付き合いさせていただくこととなりました。業績や肩書に似合わず、とても気さくな方でしたので、私にとってはお父さんのような、時に親友のような存在でした。当初はまだまだ現役で、九州、北海道、京都と、海外にはもういらしてないようでしたが、日本中を飛び回っていらっやいました。

大変な博学の方で、いつも何やら本をお読みでいらっやり、その中から私にご紹介くださり、面白くて夢中で読んだ本は「思考の整理学」外山滋比古、「微光のなかの宇宙～私の美術観～」司馬遼太郎、「できそこないの男たち」福岡伸一、「カラヤンがクラシックを殺した」宮下誠、等々。永田さんの興味は多岐に渡っていらっやいました。

また、毎晩のようにコンサートにお出かけでいらっやいました。私が永田音響設計事務所にご相談に伺うと、度々お誘いいただき、時折、美術館に寄って、それから夜はコンサート、という梯子をなさることもありました。サントリーホールから第一生命ホールへ、コンサートの梯子をしたこともありました。西方音楽館に電車で打ち合わせにいらした後、「水戸は近いから」、と水戸芸術館に途中道に迷いながらも私の車で駆け付け、ぎりぎり間に合ったこともありました(帰りは、永田さんは電車でご自宅に、私は来た道をどう帰ったのか・・・?!、大冒険でした。実は、永田さんが初めて西方音楽館を訪れたのは、水戸芸術館からご自分で運転する車でだったのです!!!ご自宅は都内中野区)。陸の孤島のような田舎に住んでいる私はこのような強行軍のお陰で、いくつもの美術展に、またたくさんのコンサートに行くことが出来ました。永田さんは、並外れた体力をお持ちで、また頭の回転と切り替えがとても速く、この強行軍を難くこなせたのだと思います。

永田穂さんにとって、最後の仕事となった木洩れ陽ホールと馬酔木の蔵。遮音性の高さ、良い音、良い響きを追求し続けた永田さんでしたが、木洩れ陽ホールの音響設計に際しては、外の鳥の声、虫の声が聞こえてもいいじゃないか、要塞のような建物の中ではなく、自然が感じられる中で生の音楽に触れるのもいいじゃないか、わらべうたの里になると良い、音楽が溢れる所になれば良い、というお考えでした。

ですから、ホールの音響のスペシャリスト永田穂さんの仕事としては、西方音楽館は、はなはだ不完全なものだと言えます。しかしながら、たくさんのホール設計にかかわる中で、最終的に辿り着いた、人間味あふれる、自然が大好きな永田さんの一つの境地のようにも思えてなりません。永田穂さんの思いの詰まった2つの小さなホール。永田穂さんの思いを大切に、わらべうたや音楽が溢れる所にしていきたいと思っています。

永田 穂 1925年(大正14年)4月、福岡県生まれ。1949年、東京大学第一工学部計測工学科を卒業してNHKに入局。技術研究所音響研究部で建築音響関係の業務を担当。西ドイツ留学を経て、音響研究部の主管、部長を歴任した。1971年にNHKを退職、1974年に「永田穂建築音響設計」を設立、1993年「永田音響設計」に改称。ホールの音響設計の草分けとして国内外のさまざまなホールの“響”を創り上げた。音響設計を手掛けたホールには、サントリーホール、札幌コンサートホール(Kitaro)、ハーモニーホールふくい、すみだトリフォニーホール、北九州市立響ホール、東京芸術劇場大ホール、上野学園石橋メモリアル新ホール、紀尾井ホール、トッパンホール、水戸芸術館コンサートホールATMなど、国内外に多数ある。